

水俣工場再建で重大示唆

江頭チッソ社長

事業縮小ありうる

微妙な現地情勢が支障

チッソ水俣工場の再建五カ年計画に着手したばかりのチッソ江頭社長は二日、チッソ水俣新勢が水俣町対策問題について会社側に出した要請書の内容の中で、浜田同僚組合長に対し、「水俣町問題に関する地元微妙な現地の情勢の中で、今後再建五カ年計画の遂行も考慮されている」と事業縮小の意向を明らかにした。

水俣工場の再建に期待を寄せていた地元関係方面に与えた影響は大きく、今後のチッソの方向が注目されている。



江頭社長

江頭社長は、水俣町問題に際してチッソ水俣新勢が出した要請書四項目の「水俣市民の世論に聞かれるような水俣の事業縮小ないしは撤退などの不安を一掃するために、企業側がもつ社会性を明らかにし、水俣市を中心とする地域社会の発展に貢献しうるよう、目下推進中の再建五カ年計画をせむことも考慮してほしい」ということに対する回答で、江頭社長は「水俣工場は技術革新における経済性において非但不利な立場にある工場、再建五カ年計画を作るさいは首脳部の中でもいかなる意見があつたが、地域社会と共存共栄の意味からも水俣工場の再建に全力を注ぐ決意があつた。しかし、いまの現地におけるチッソへの微妙な動きからして、今後再建五カ年計画の推進に支障をきたすことも考えられるので、計画の変更が当然必要になるざるをえない」といった旨の意向を明らかにした。

このさい、江頭社長は浜田組合長に対し「水俣町問題の解決が迅速で、いまの現地は混乱を招く恐れもあるもので、再建五カ年計画の変更など今後の水俣工場の具体的な方向は明らかにできないが、水俣町問題が解決したあと、実際に水俣工場の将来の方向を再検討し、再建五カ年計画への投資はしばらく中止するつもりだ」とさらに強い意向を明らかにし、事業縮小もありうることを暗示されたといわれる。

再建五カ年計画は昨年八月十八日正式に発表されてから五カ年にわたって約八百七十人にのぼる配当換換によって新規事業の開発など約七十億円を投資する計画で、すでにこの四月から再建計画の第一期としてチッソプラスチック

工場の操業を開始、高度化肥料の新工場建設など再建に着手したばかりの大切な時期だけに、今後の計画変更は地元関係方面に大きな影響をもたらすことは必至

で成り行きが注目される。

◇徳江チッソ水俣支社長の話
本社首脳部で新勢の要請書に対する回答の中で出たもので、またわたし自身本社に本場の方針については聞いていない。わたしとしてはあくまで水俣町問題は問題として解決し、水俣工場の再建については、全力をあげて成功するよう努力するつもりだ。

◇熊本市長の話
水俣町問題も解決していないのに、チッソの本社で再建五カ年計画をやらかうと時点をよく思つて。水俣町問題とは別に、水俣工場の再建五カ年計画はぜひ実行してもらいたい。そのためには地元も一協助力してチッソに計画推進を強力に働きかけ。

再建派と縮小派対立

だが、すでに20億円投資

解説

水俣町問題でチッソ水俣新勢が「水俣町問題に際して再建五カ年計画をせむことも考慮されている」と事業縮小の意向を明らかにした。チッソ水俣新勢の浜田組合長に対し、江頭社長は「水俣町問題に際して、水俣市を中心とする地域社会の発展に貢献しうるよう、目下推進中の再建五カ年計画をせむことも考慮してほしい」ということに対する回答で、江頭社長は「水俣工場は技術革新における経済性において非但不利な立場にある工場、再建五カ年計画を作るさいは首脳部の中でもいかなる意見があつたが、地域社会と共存共栄の意味からも水俣工場の再建に全力を注ぐ決意があつた。しかし、いまの現地におけるチッソへの微妙な動きからして、今後再建五カ年計画の推進に支障をきたすことも考えられるので、計画の変更が当然必要になるざるをえない」といった旨の意向を明らかにした。

江頭社長はチッソの主力であるK銀行と、同銀行内にはチッソ再建について「縮小派」があり、チッソの別会社である千葉五井の「チッソ石油化学」に集中する意見が現在もおおむねいわれる。また技術提携会社の旭化成と取引関係のあるS銀行は、チッソを岡山県水産の行前コヒナト基地に進出させる意見

が強いという。

チッソをバックアップする主力銀行のこうした意見の中で、チッソは先般の首脳部が強硬に水俣工場の再建を主張して、それにかたくなに反対を表明している。もともと一部には江頭社長が、水俣町問題で手を上げている中で、地元関係がなげ半ば受け止めている面もないではないが、いざいざしてもチッソに對する積極的救済策などの問題解決するべきが、決定的な